

☆法人情報

法人名称 : 株式会社サルピス  
 住所 : 〒703-8255 岡山県岡山市中区東川原 242-1  
 代表者名 : 代表取締役 清久茂美  
 研修事業担当取締役 : 清久記子

☆研修機関情報

事業所名称 : 株式会社サルピス  
 住所 : 〒703-8255 岡山県岡山市中区東川原 242-1  
 理念 : 高齢者の多様化するニーズに対応した質の高い介護を提供するために必要な知識、技能を有する介護員の養成を図る  
 学則 : 別紙  
 研修施設 : 〒700-0973 岡山県岡山市南区下中野 1424-9  
 株式会社サルピス サルピス大元教室  
 設備 : A 教室 (講義室 49.33 m<sup>2</sup>)  
 B 教室 (演習室 49.72 m<sup>2</sup>)

物品名称					
大型備品・家具	個数	寝具類	個数	食事・調理関係	個数
介護用電動ベッド	3	シーツ	17	介護用食器一式	2
家庭用エレベータ	1	敷パット	3	介護用フォーク・スプーン等	30
移動用リフト(レー ル)	1	防水シート	12	吸い飲み	4
サイドテーブル	4	掛布団	2	塩分計	5
処置台又はワゴン	3	毛布	2	ガーグルベースン	12
サイドキャビネット	5	タオルケット	7	ストロー付カップ	4
床敷スポーツマット	36	枕	4	介護用皿	5
ポータブルトイレ	4	ピロケース	8	介護調理台	3
車イス	13	ナーセントパット	11	吸い口付補食器	6
折りたたみ担架	1	クッション等 大	8	ストロー付補食器	5
ハンディ担架	1	クッション等 中	7	<b>医療関係</b>	個数
面談用テーブル	1	クッション等 小	11	人体解剖模型	1
面談用イス	4	バスタオル	10	人体骨格模型	1
<b>テレビ・ビデオ等</b>	個数	タオル	50	心肺蘇生用人体モデル	4
テレビ	2	褥瘡防止かかと当て	2	介護実習用人体モデル	4
DVDレコーダー	2	褥瘡予防マット	2	皮膚構造模型	1
ビデオデッキ	2	褥瘡予防パッド	12	歯磨指導顎模型	1

プロジェクター	1	歩行・移乗関係	個数	褥瘡ケアモデル	1
スクリーン	1	一本杖	14	人体解剖モデル	2
入浴関係	個数	固定式歩行器	1	携帯用酸素吸入器	1
浴室と備品一式	1	介護用靴	2	酸素発生器	2
訓練用簡易浴槽	1	アイマスク	12	ゴム製水枕	5
足浴器	1	スライディングシート	3	氷嚢	5
洗髪器	3	スライディングボード	1	氷嚢つり	5
洗面器	13	排泄関係	個数	水銀血圧計	13
バケツ	7	紙オムツ	30	電気血圧計	2
ドライヤー	3	リハビリパンツ	30	聴診器	8
ひしゃく	9	パッド	30	吸引装置一式	5
シャワーボトル	5	男性用尿器	6	経管栄養用具一式	5
衣類	個数	女性用尿器	6	吸引訓練モデル	5
ゆかた 大	19	差し込み便器	11	経管栄養訓練モデル	5
ゆかた 小	3	自動採尿器	1	心肺蘇生訓練用機材一式	5
男性用パジャマ（長袖）	7	安楽尿器	3		
女性用パジャマ（長袖）	18	導尿モデル	2		
スウェット上下	11				

## ★研修の概要

対 象 : 介護の仕事に就くことを希望するものであって、ハローワークに相談後申し込みし、選考後ハローワークの受講指示を受けたもの

研 修 スケジュール : 期間 ①令和5年4月4日から令和5年10月3日  
②令和5年9月27日から令和6年3月26日

日 程 土日祝を除く平日9:00~16:30

定 員 : 20名

※研修受講の募集、申し込み、費用等についてはハローワークにお問い合わせください

## ☆研修 カリキュラム

シラバス：

科目名	人間の尊厳と自立		指導担当者名	清久 記子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	5時間			
学習目的	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解する			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の生活と生活の支障について理解する。</li> <li>・自立について理解する。</li> <li>・人間の尊厳について理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
2時間	人間の多面的な理解と尊厳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間を理解するということ</li> <li>2. 人間の尊厳の意義</li> <li>3. 人権、そして尊厳をめぐる歴史的経緯</li> <li>4. 人権、そして尊厳に関する諸規定</li> </ol>		スクーリング
2時間	自立の支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護における自立</li> <li>2. 自立への意欲と動機づけ</li> <li>3. 自立して生活を支えるための援助の視点</li> <li>4. 介護における自立支援の実践</li> </ol>		スクーリング
1時間	人権と尊厳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護における権利擁護と人権尊重</li> <li>2. 高齢者虐待の実態と介護の課題</li> <li>3. 尊厳の保持をめざした介護実践</li> <li>4. ノーマライゼーションの実現</li> <li>5. プライバシーの保護</li> </ol>		スクーリング
評価方法	小テスト			
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第1巻】 人間と社会 中央法規			

科目名	社会の理解 I		指導担当者名	四方 克尚
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	5時間			
学習目的	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる能力を身につける。			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の社会保障の基本的な考え方について理解する。</li> <li>・社会保障の歴史と変遷、仕組みについて理解する。</li> <li>・介護保険制度について理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
1時間	介護保険制度創設の背景と目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険制度の創設をめぐる社会的背景</li> <li>2. 1990年代までの高齢者介護の制度と社会福祉基礎構造改革</li> <li>3. 介護保険制度の基本理念</li> </ol>		スクーリング
3時間	介護保険制度の基礎的理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険制度の概要</li> <li>2. 保険者・被保険者</li> <li>3. 保険給付の対象者</li> <li>4. 保険給付までの流れ</li> <li>5. 保険給付の種類と内容</li> <li>6. 地域支援事業</li> <li>7. 国・都道府県・市町村の役割</li> <li>8. その他の組織の役割</li> <li>9. 介護保険の財政</li> </ol>		スクーリング
1時間	介護保険制度における専門職の役割	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護職の役割</li> <li>2. 介護支援専門員の役割</li> <li>3. その他の専門職の役割</li> </ol>		スクーリング
評価方法	小テスト			
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第1巻】 人間と社会 中央法規			

科目名	社会の理解Ⅱ		指導担当者名	清久 記子 後藤 文
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	30時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。</li> <li>・地域共生社会の考え方と地域包括ケアのしくみについて基本的な知識を習得している。</li> <li>・社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得する。</li> <li>・障害者総合支援法の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。</li> <li>・成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解する。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、地域、社会から生活と福祉について理解する。</li> <li>・社会保障制度について理解する。</li> <li>・障害者総合支援法について理解する。</li> <li>・介護実践に関連する諸制度について理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
3時間	生活と福祉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭生活の基本機能</li> <li>2. 家族</li> <li>3. 地域</li> <li>4. 社会集団と組織</li> <li>5. ライフスタイルの変化</li> </ol>		スクーリング
2時間	地域共生社会の実現に向けた制度や施策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域共生社会とは</li> <li>2. 地域包括ケアシステムとは</li> </ol>		スクーリング
10時間	社会保障制度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障の概念・範囲</li> <li>2. 日本の社会保障発達</li> <li>3. 社会保障の意義・役割</li> <li>4. 社会保障制度の目的・機能</li> <li>5. 日本の社会保障制度のしくみ</li> <li>6. 年金保険</li> <li>7. 医療保険</li> <li>8. 後期高齢者医療制度</li> <li>9. 雇用保険</li> <li>10. 労働者災害補償保険</li> <li>11. 公的扶助</li> <li>12. 社会手当</li> <li>13. 社会福祉</li> </ol>		スクーリング
10時間	障害者総合支援制度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の種類と定義</li> <li>2. 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ</li> <li>3. サービスの種類と内容</li> <li>4. サービス利用の流れ</li> <li>5. 自立支援給付と利用者負担</li> <li>6. 障害者総合支援制度における事業者</li> <li>7. 障害者総合支援制度における組織・団体の機能と役割</li> <li>8. ライフサイクルからみた支援組織</li> </ol>		スクーリング
5時間	介護実践にかかわる諸制度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービスの利用にかかわる諸制度</li> <li>2. 虐待防止の諸制度</li> <li>3. 人々の権利を擁護するその他の諸制度</li> <li>4. 保健医療にかかわる諸制度</li> <li>5. 介護職と医療にかかわる諸制度</li> <li>6. 生活を支える諸制度</li> <li>7. 住生活を支援する諸制度</li> </ol>		スクーリング
評価方法	小テスト			
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第1巻】 人間と社会 中央法規			

科目名	介護の基本Ⅰ		指導担当者名	清久 記子 河野 恵子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	10時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度の法的な定義や義務をふまえ、介護予防や看取り、災害時等における介護福祉士の役割を理解する。</li> <li>・個別ケア、ICF(国際生活機能分類)、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解する。</li> <li>・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守する。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士制度について理解する。</li> <li>・個別支援、ICFの視点から尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開について理解する。</li> <li>・介護福祉士の倫理について理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
3時間	介護福祉士の役割と機能	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士を取り巻く状況</li> <li>2. 社会福祉士及び介護福祉士法</li> <li>3. 介護福祉士のキャリアパス</li> <li>4. 介護福祉士の活動の場と役割</li> </ol>		スクーリング
4時間	尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者に合わせた生活支援</li> <li>2. 自立に向けた支援</li> <li>3. 自立に向けたICFの考え方</li> <li>4. 自立に向けたリハビリテーションの考え方</li> <li>5. 自立に向けた個別ケアの考え方</li> <li>6. 介護の専門性</li> </ol>		スクーリング
3時間	介護福祉士の倫理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士としての倫理の必要性</li> <li>2. 日本介護福祉士会倫理綱領</li> </ol>		スクーリング
評価方法	小テスト			
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第2巻】 介護Ⅰ 中央法規			

科目名	介護の基本Ⅱ		指導担当者名	清久 記子 河野 恵子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	20時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。</li> <li>・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得する。</li> <li>・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得する。</li> <li>・介護従事者の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得する。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人の生活の理解と支援について理解する。</li> <li>・介護実践における連携について理解する。</li> <li>・介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する。</li> <li>・介護福祉士の安全について理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
6時間	介護を必要とする人の生活の理解と支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. その人らしさの理解</li> <li>2. 高齢者の暮らしと支援の実際</li> <li>3. 障害のある人の暮らしと支援の実際</li> <li>4. 介護を必要とする人の生活環境の理解</li> </ol>		スクーリング
6時間	介護実践における連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種連携</li> <li>2. 地域連携</li> </ol>		スクーリング
4時間	介護における安全の確保とリスクマネジメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事故防止と安全対策</li> <li>2. 感染対策</li> </ol>		スクーリング
4時間	介護従事者の安全	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康管理の意義と目的</li> <li>2. 健康管理に必要な知識と技術</li> <li>3. 安心して働ける環境づくり</li> </ol>		スクーリング
評価方法	小テスト			
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第2巻】 介護Ⅰ 中央法規			

科目名	コミュニケーション技術		指導担当者名	清久 記子 後藤 文
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	20時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人・家族との支援関係を構築し、意思決定を支援することができる。</li> <li>・利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。</li> <li>・チームマネジメント(組織の運営管理、人材管理、リーダーシップ・フォロワーシップ等)に関する知識を理解し、活用できる。</li> <li>・状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーション技術について理解する。</li> <li>・満足感や安心感が与えられる介護場面における利用者・家族とのコミュニケーションについて理解する。</li> <li>・介護におけるチームのコミュニケーションの必要性や方法を理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
2時間	介護におけるコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションの意義、目的、役割</li> <li>2. コミュニケーションの技法</li> <li>3. 支援関係の構築と意思決定の支援</li> </ol>		スクーリング
6時間	介護におけるコミュニケーション技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 話を聞く技法</li> <li>2. 利用者の感情表現を察する技法</li> <li>3. 利用者の納得と同意を得る技法</li> <li>4. 質問の技法</li> <li>5. 相談・助言・指導の技法</li> <li>6. 利用者の意欲を引き出す技法</li> <li>7. 利用者と家族の意向を調整する技法</li> </ol>		スクーリング
6時間	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーション障害の理解</li> <li>2. 視覚の障害に応じたコミュニケーション技術</li> <li>3. 聴覚の障害に応じたコミュニケーション技術</li> <li>4. 構音障害に応じたコミュニケーション技術</li> <li>5. 失語症に応じたコミュニケーション技術</li> <li>6. 高次脳機能障害に応じたコミュニケーション技術</li> <li>7. 知的障害に応じたコミュニケーション技術</li> <li>8. 精神障害に応じたコミュニケーション技術</li> <li>9. 認知症に応じたコミュニケーション技術</li> </ol>		スクーリング
6時間	介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームマネジメントの理解と活用</li> <li>2. チームのコミュニケーションとは</li> <li>3. 記録による情報の共有化</li> <li>4. 報告・連絡・相談による情報の共有化</li> <li>5. 会議による情報の共有化</li> </ol>		
評価方法	小テスト			
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第2巻】 介護Ⅰ 中央法規			

科目名	生活支援技術Ⅰ		指導担当者名	清久 記子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	20時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している。</li> <li>・ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。</li> <li>・自立に向けた生活支援技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)を実施できる。</li> <li>・居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の生活環境を整備する視点・留意点を理解している。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援とICFについて理解する。</li> <li>・ボディメカニクスの活用した介護の原則を理解する。</li> <li>・介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)について理解する。</li> <li>・環境整備、福祉用具活用等の視点について理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態

2時間	生活支援と ICF	1. 生活支援とアセスメント 2. ICF の視点とアセスメント	スクーリング*
2時間	居住環境の整備と福祉用具の活用	1. 居住環境の意義 2. 生活空間と介護 3. 福祉用具の活用	スクーリング*
3時間	移動・移乗の生活支援技術の基本	1. 移動・移乗の介助を行うにあたって 2. 体位変換の介助 3. 車いすの介助 4. 歩行の介助	スクーリング*
2時間	食事の生活支援技術の基本	1. 食事の介助を行うにあたって 2. 食事の介助	スクーリング*
3時間	入浴・清潔保持の生活支援技術の基本	1. 入浴の介助を行うにあたって 2. 入浴の介助 3. 部分浴の介助 4. 清潔保持の介助	スクーリング*
2時間	排泄の生活支援技術の基本	1. 排泄の介助を行うにあたって 2. 排泄の介助	スクーリング*
3時間	着脱、整容、口腔清潔の生活支援技術の基本	1. 身じたくの介助を行うにあたって 2. 衣類着脱の介助 3. 整容の介助 4. 口腔清潔の介助	スクーリング*
3時間	家事援助の基本	1. 生活と家事の理解 2. 調理 3. 洗濯 4. 掃除・ごみ捨て 5. 衣服の補修・裁縫 6. 衣服・寝具の衛生管理 7. 買い物	スクーリング*
評価方法	小テスト		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第2巻】 介護Ⅰ 中央法規		

科目名	生活支援技術Ⅱ		指導担当者名	清久 記子 河野 恵子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	30時間			
学習目的	「環境整備」「移動・移乗」「食事」「入浴・清潔保持」「排泄」「着脱、整容、口腔清潔」「休息・睡眠」「人生の最終段階における介護」「福祉用具等の活用」のそれぞれについて、利用者の心身の状態に合わせた、生活支援技術を理解し、行うことができる。			
学習目標	利用者の心身の状況に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息・睡眠、終末期の介護)を理解し行うことができる。			
回数	項目	授業内容		授業形態
	環境と福祉用具等の活用	1. 利用者に適した生活環境の整備 2. 利用者に適した福祉用具の選定		
5時間	移動・移乗の生活支援技術	1. 体位変換の介助 2. 車いすの介助 3. 安楽な体位の保持と褥瘡の予防 4. 歩行の介助 5. 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法		スクーリング*
3時間	食事の生活支援技術	1. 食事の介助 2. 食事に関する福祉用具とその活用方法 3. 誤嚥・窒息の予防 4. 脱水の予防		スクーリング*
4時間	入浴・清潔保持の生活支援技術	1. 入浴の介助 2. 利用者に関する福祉用具とその活用方法		スクーリング*

5時間	排泄の生活支援技術	1. 排泄の介助 2. 排泄に関する福祉用具とその活用方法 3. 頻尿、尿失禁、便秘、下痢、便失禁への対応 4. その他の排泄に関するさまざまな介助	スクーリング
5時間	着脱、整容、口腔清潔の生活支援技術	1. 衣類着脱の介助 2. 整容の介助 3. 口腔清潔の介助	スクーリング
4時間	休息・睡眠の生活支援技術	1. 休息・睡眠の介助を行うにあたって 2. 睡眠の介助 3. 睡眠に関する用具とその活用方法 4. 睡眠と薬	スクーリング
4時間	人生の最終段階における介護の生活支援技術	1. 人生の最終段階における介護を行うにあたって 2. 人生の最終段階の介護 3. 介護職、家族への支援	スクーリング
評価方法	小テスト		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第2巻】 介護Ⅰ 中央法規		

科目名	介護過程Ⅰ		指導担当者名	藤原 美恵子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	20時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的、意義、展開等を理解している。</li> <li>・介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。</li> <li>・チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、他の職種の役割を理解している。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の基礎的知識について理解する。</li> <li>・介護過程の展開について理解する。</li> <li>・介護過程とチームアプローチについて理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
4時間	介護過程の意義と目的	1. 介護の概念の見直し 2. 根拠に基づいた介護の実践 3. 介護過程の必要性		スクーリング
8時間	介護過程の展開	1. 介護過程の展開イメージ 2. アセスメント 3. 計画の立案 4. 実施 5. 評価		スクーリング
8時間	介護過程とチームアプローチ	1. 介護過程とケアマネジメントの関係性 2. 介護過程とチームアプローチ		スクーリング
評価方法	小テスト			
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第3巻】 介護Ⅱ 中央法規			

科目名	介護過程Ⅱ		指導担当者名	清久 記子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	25時間			
学習目的	情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)について事例の介護過程を展開することができる。</li> <li>・観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携等について考察することができる。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
2時間	介護職による介護過程の進め方	1. 日々の実践のなかにある介護過程 2. 思考過程の訓練 3. ケアマネジメントをふまえた介護過程の展開		スクーリング
1時間	介護過程の実践的展開	1. 事例で学ぶ介護過程の展開 2. 取り上げる事例と構成		スクーリング



6時間	施設で暮らす高齢者の介護過程	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のプロフィール</li> <li>2. 家族構成及び生活歴</li> <li>3. 現在の状況</li> <li>4. Aさんのフェイスシート</li> <li>5. Aさんのアセスメント表(1)</li> <li>6. アセスメント表(2)作成におけるヒント</li> <li>7. Aさんのアセスメント表(2)</li> <li>8. Aさんの介護計画書</li> <li>9. Aさんの実施評価表</li> </ol> <p>【解説】Aさんの介護過程について</p>	スクーリング*
6時間	在宅で暮らす高齢者の介護過程	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のプロフィール</li> <li>2. 家族構成及び生活歴</li> <li>3. 現在の状況</li> <li>4. Dさんのフェイスシート</li> <li>5. Dさんのアセスメント表(1)</li> <li>6. アセスメント表(2)作成におけるヒント</li> <li>7. Dさんのアセスメント表(2)</li> <li>8. Dさんの介護計画書</li> <li>9. Dさんの実施評価表</li> </ol> <p>【解説】Dさんの介護過程について</p>	スクーリング*
10時間	演習課題:介護老人福祉施設で生活するGさんの事例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のプロフィール</li> <li>2. 家族構成および生活歴</li> <li>3. 現在の状況</li> <li>4. Gさんのフェイスシート</li> <li>5. Gさんのアセスメント表(1)</li> <li>6. Gさんのアセスメント表(2)</li> <li>7. Gさんの介護計画書</li> </ol>	スクーリング*
評価方法	小テスト		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第3巻】 介護Ⅱ 中央法規		

科目名	介護過程Ⅲ		指導担当者名	清久 記子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	4.5時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。</li> <li>・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護(アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等)を提供できる。</li> <li>・介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。</li> <li>・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的、意義、展開過程を理解する。</li> <li>・介護過程を踏まえ、目標に沿って一括的に介護実践ができる。</li> <li>・チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
1時間	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のさまざまな暮らしと介護過程の展開</li> <li>2. 第3章で取り上げる事例の特徴</li> <li>3. 演習の進め方</li> </ol>		スクーリング*

11 時間	事例 1: 片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のプロフィール</li> <li>2. 家族構成及び生活歴</li> <li>3. 現在の状況</li> <li>4. Jさんのフェイスシート</li> <li>5. Jさんのアセスメント表 (1)</li> <li>6. Jさんのアセスメント表 (2)</li> <li>7. Jさんの介護計画書</li> <li>8. Jさんの実施評価表</li> </ol> <p>【解説】 Jさんの介護過程について [演習] ~ Jさんの自立に向けた介護の実際 (移動・移乗の介護) ~ 確認・評価してみよう!</p>	スクーリング*
11 時間	事例 2: 在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のプロフィール</li> <li>2. 家族構成及び生活歴</li> <li>3. 現在の状況</li> <li>4. Lさんのフェイスシート</li> <li>5. Lさんのアセスメント表 (1)</li> <li>6. Lさんのアセスメント表 (2)</li> <li>7. Lさんの介護計画書</li> <li>8. Lさんの実施評価表</li> </ol> <p>【解説】 Lさんの介護過程について [演習] ~ Lさんの自立に向けた介護の実際 (食事、身だしなみ、排泄の介護) ~ 確認・評価してみよう!</p>	スクーリング*
11 時間	事例 3: 都会に住む一人暮らしの高齢者の生活支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のプロフィール</li> <li>2. 家族構成及び生活歴</li> <li>3. 現在の状況</li> <li>4. Nさんのフェイスシート</li> <li>5. Nさんのアセスメント表 (1)</li> <li>6. Nさんのアセスメント表 (2)</li> <li>7. Nさんの介護計画書</li> <li>8. Nさんの実施評価表</li> </ol> <p>【解説】 Nさんの介護過程について [演習] ~ Nさんの自立に向けた介護の実際 (移動・移乗、排泄の介護) ~ 確認・評価してみよう!</p>	スクーリング*
11 時間	事例 4: 介護老人保健施設で生活する利用者への支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のプロフィール</li> <li>2. 家族構成及び生活歴</li> <li>3. 現在の状況</li> <li>4. Qさんのフェイスシート</li> <li>5. Qさんのアセスメント表 (1)</li> <li>6. Qさんのアセスメント表 (2)</li> <li>7. Qさんの介護計画書</li> <li>8. Qさんの実施評価表</li> </ol> <p>【解説】 Qさんの介護過程について [演習] ~ Qさんの自立に向けた介護の実際 (衣類の着脱、入浴の介護) ~ 確認・評価してみよう!</p>	スクーリング*
評価方法	事例発表、実技試験		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第3巻】 介護Ⅱ 中央法規		

科目名	こころとからだのしくみⅠ	指導担当者名	清久 記子
開講時期	上記参照		
単位(時間)数	20時間		
学習目的	介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得する。		
学習目標	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔等)		
回数	項目	授業内容	授業形態

4時間	移動・移乗に関連するからだのしくみ	1. 基本的な姿勢 2. 基本的なからだのしくみ	スクーリング
3時間	食事に関連するからだのしくみ	1. 基本的なからだのしくみ 2. 栄養素とエネルギー 3. 代償的な栄養摂取法	スクーリング
3時間	入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ	1. 基本的なからだのしくみ 2. 入浴と清潔保持の意味	スクーリング
3時間	排泄に関連するからだのしくみ	1. 基本的なからだのしくみ	スクーリング
4時間	着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ	1. 基本的なからだのしくみ 2. 着脱、整容、口腔清潔の意味	スクーリング
3時間	休息・睡眠に関するからだのしくみ	1. 基本的なからだのしくみ 2. こころのしくみ	
評価方法	小テスト		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 こころとからだのしくみ 中央法規		

科目名	こころとからだのしくみⅡ		指導担当者名	清久 記子 河野 恵子
開講時期	上記参照			
単位(時間)数	60時間			
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>・生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得する。</li> <li>・身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、観察・アセスメント、関連する職種との連携が行える。</li> </ul>			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の心理について理解する。</li> <li>・人体の構造と機能について理解する。</li> <li>・身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)について理解する。</li> </ul>			
回数	項目	授業内容		授業形態
3時間	人間の心理	1. 人間の欲求の基本的理解 2. こころのしくみの基礎		スクーリング
8時間	人体の構造と機能	1. 生命の維持・恒常のしくみ 2. 人間のからだのしくみ 3. ボディメカニクスの活用		スクーリング
7時間	移動・移乗における観察のポイント	1. 移動・移乗を阻害する要因の理解 2. 変化に気づくための観察のポイント 6. 医療職との連携のポイント		スクーリング
7時間	食事における観察のポイント	1. 食事を阻害する要因の理解 2. 変化に気づくための観察のポイント 3. 医療職との連携のポイント		スクーリング
8時間	入浴・清潔保持における観察のポイント	1. 入浴を阻害する要因の理解 2. 変化に気づくための観察のポイント 3. 医療職との連携のポイント		スクーリング
8時間	排泄における観察のポイント	1. 排泄を阻害する要因の理解 2. 変化に気づくための観察のポイント 3. 医療職との連携のポイント		スクーリング
7時間	着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント	1. 身じたくを阻害する要因の理解 2. 変化に気づくための観察のポイント 3. 医療職との連携のポイント		スクーリング
6時間	休息・睡眠における観察のポイント	1. 睡眠を阻害する要因の理解 2. 変化に気づくための観察のポイント		スクーリング

6時間	人生の最終段階のけあにおける観察のポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 終末期の理解</li> <li>2. こころのしくみ</li> <li>3. 終末期からの危篤状態の変化の特徴</li> <li>4. 死後の対応</li> <li>5. 医療職との連携のポイント</li> <li>6. 家族へのケア</li> </ol>	スクーリング
評価方法	小テスト		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 こころとからだのしくみ 中央法規		

科目名	発達と老化の理解 I	指導担当者名	中嶋 弥生
開講時期	上記参照		
単位(時間)数	10時間		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</li> <li>・老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</li> </ul>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に伴う心の変化と日常生活への影響について理解する。</li> <li>・老化に伴う体の変化と日常生活への影響について理解する。</li> </ul>		
回数	項目	授業内容	授業形態
4時間	こころの変化と日常生活への影響	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老化が及ぼす心理的影響</li> <li>2. 自己概念と生きがい</li> </ol>	スクーリング
6時間	からだの変化と日常生活への影響	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加齢にともなう身体機能の変化と日常生活への影響</li> <li>2. さまざまな機能の変化</li> </ol>	スクーリング
評価方法	小テスト		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 こころとからだのしくみ 中央法規		

科目名	発達と老化の理解 II	指導担当者名	中嶋 弥生
開講時期	上記参照		
単位(時間)数	20時間		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクル各期の発達の定義、発達段階、発達課題について理解する。</li> <li>・老年期の発達課題、心理的な課題(老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等)と支援の留意点について理解する。</li> <li>・高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解する。</li> </ul>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の成長・発達について理解する。</li> <li>・老年期の発達・成熟と心理について理解する。</li> <li>・高齢者に多い症状・疾病等と留意点について理解する。</li> </ul>		
回数	項目	授業内容	授業形態
3時間	人間の成長・発達	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達の定義</li> <li>2. 発達段階と発達課題</li> <li>3. 各ライフサイクルの発達</li> </ol>	スクーリング
3時間	老年期の発達・成熟と心理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期の定義</li> <li>2. 老年期の心理的課題と適応</li> <li>3. 要介護状態と高齢者の心理</li> <li>4. 不適応状態を緩和する心理</li> </ol>	スクーリング
14時間	高齢者に多くみられる症状・疾病等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者に多くみられる症状・訴えとその留意点</li> <li>2. 介護を要する高齢者によくみられる病気・病態</li> </ol>	スクーリング
評価方法	小テスト		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 こころとからだのしくみ 中央法規		

科目名	認知症の理解 I	指導担当者名	河野 恵子
開講時期	上記参照		
単位(時間)数	10時間		

学 習 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。</li> <li>・認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。</li> <li>・認知症の人やその家族に対する関わり方の基本を理解している。</li> </ul>		
学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの理念について理解する。</li> <li>・認知症による生活障害、心理・行動の特徴について理解する。</li> <li>・認知症の人とのかかわり・支援の基本について理解する。</li> </ul>		
回 数	項 目	授業内容	授業形態
3 時間	認知症ケアの理念と視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症ケアを取り巻く状況</li> <li>2. 認知症ケアの理念</li> <li>3. 認知症ケアの視点</li> </ol>	スクーリング
4 時間	認知症による生活障害、心理・行動の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「人」と「生活」の理解</li> <li>2. 認知症ケアはなぜ「人」と「生活」に焦点をあてる必要があるのか</li> <li>3. 認知症の中核症状</li> <li>4. 行動・心理症状（BPSD）</li> <li>5. 意識障害の理解</li> <li>6. 生活障害の理解</li> </ol>	スクーリング
3 時間	認知症の人とのかかわり・支援の基本	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症のひとにかかわる際の前提</li> <li>2. 実際のかかわり方の基本</li> <li>3. 家族への支援</li> </ol>	スクーリング
評 価 方 法	小テスト		
テ キ ス ト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 心とからだのしくみ 中央法規		

科 目 名	認知症の理解Ⅱ	指導担当者名	河野 恵子
開 講 時 期	上記参照		
単 位 (時間) 数	20 時間		
学 習 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。</li> <li>・認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、本人主体の理念にもとづいた支援ができる。</li> <li>・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</li> </ul>		
学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学的側面からみた認知症の理解について医学的知識を理解する。</li> <li>・認知症の人や家族への支援の実際を理解する。</li> </ul>		
回 数	項 目	授業内容	授業形態
10 時間	医学的側面からみた認知症の理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症とは</li> <li>2. 認知症の診断</li> <li>3. 認知症の原因疾患と病態</li> <li>4. 認知症の治療と予防</li> </ol>	スクーリング
10 時間	認知症の人への支援の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症のアセスメント</li> <li>2. 中核症状へのかかわり方の実際</li> <li>3. BPSD（行動・心理症状）へのかかわり方の実際</li> <li>4. 環境の整備</li> <li>5. 認知症ケアにおけるチームアプローチ</li> <li>6. 認知症の人への様々なアプローチ</li> <li>7. 地域生活の支援</li> </ol>	スクーリング
評 価 方 法	小テスト		
テ キ ス ト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 心とからだのしくみ 中央法規		

科 目 名	障害の理解Ⅰ	指導担当者名	清久 記子 後藤 文
開 講 時 期	上記参照		
単 位 (時間) 数	10 時間		
学 習 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史をふまえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。</li> <li>・障害（身体・知的・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。</li> <li>・障害のある人やその家族に対するかかわり方・支援の基本を理解している。</li> </ul>		

学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉の理念を理解する。</li> <li>・障害による生活障害、心理・行動の特徴を理解する。</li> <li>・障害児・者の家族へのかかわり・支援の基本を理解する。</li> </ul>		
回 数	項 目	授業内容	授業形態
3 時間	障害者福祉の理念	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「障害」のとらえ方</li> <li>2. 国際障害分類と国際生活機能分類</li> <li>3. 障害者福祉の基本理念</li> <li>4. 障害の法的定義</li> </ol>	スクーリング
5 時間	障害による生活障害、心理・行動の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体障害による生活上の障害と心理・行動の特徴</li> <li>2. 知的障害による生活上の障害と心理・行動の特徴</li> <li>3. 精神障害による生活上の障害と心理・行動の特徴</li> <li>4. 高次脳機能障害による生活上の障害と心理・行動の特徴</li> <li>5. 発達障害による生活上の障害と心理・行動の特徴</li> <li>6. 難病による心理・行動の特徴</li> </ol>	スクーリング
2 時間	障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害のある人へのかかわり・支援の基本</li> <li>2. 家族の理解と障害の受容支援</li> <li>3. 介護負担の軽減</li> </ol>	スクーリング
評 価 方 法	小テスト		
テ キ ス ト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 ころとからだのしくみ 中央法規		

科 目 名	障害の理解Ⅱ	指導担当者名	清久 記子
開 講 時 期	上記参照		後藤 文
単 位 (時 間) 数	20 時間		山本 友紀
学 習 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得する。</li> <li>・障害の特性、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。</li> <li>・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</li> </ul>		
学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学的側面からみた障害の理解について医学的知識を理解する。</li> <li>・障害児者への支援の実際について理解する。</li> </ul>		
回 数	項 目	授業内容	授業形態
14 時間	医学的側面からみた障害の理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 視覚障害</li> <li>2. 聴覚・言語障害</li> <li>3. 運動機能障害</li> <li>4. 心臓機能障害</li> <li>5. 呼吸機能障害</li> <li>6. 腎臓機能障害</li> <li>7. 膀胱・直腸機能障害</li> <li>8. 小腸機能障害</li> <li>9. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害</li> <li>10. 肝臓機能障害</li> <li>11. 知的障害</li> <li>12. 精神障害</li> <li>13. 高次脳機能障害</li> <li>14. 発達障害</li> <li>15. 難病</li> </ol>	スクーリング
6 時間	障害の特性に応じた支援の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アセスメントの視点と個別支援</li> <li>2. 障害のある人がふつうに暮らせる地域づくり</li> <li>3. 地域におけるサポート体制</li> </ol>	スクーリング
評 価 方 法	小テスト		
テ キ ス ト	介護職員等実務者研修テキスト【第4巻】 ころとからだのしくみ 中央法規		

科目名	医療的ケア	指導担当者名	山本 友紀
開講時期	上記参照		
単位(時間)数	50時間		
学習目的	<p>【医療的ケア実施の基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアを安全・適切に実施するための基礎的知識について理解する。</li> <li>・医療的ケアに関連する法制度や倫理等を理解する。</li> <li>・感染予防、安全管理体制等についての基礎的知識について理解する。</li> </ul> <p>【喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸のしくみと働き、吸引を受ける人の気持ちの理解など、喀痰吸引の基本的知識を理解する。</li> <li>・喀痰吸引における急変・事故発生時の対応などについて理解する。</li> <li>・喀痰吸引の実施手順(口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部)を理解する。</li> </ul> <p>【経管栄養(基礎的知識・実施手順)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器系のしくみと働き、経管栄養を受ける人の気持ちの理解など、経管栄養の基本的知識を理解する。</li> <li>・経管栄養における急変・事故発生時の対応などについて理解する。</li> <li>・経管栄養の実施手順(胃ろう又は腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養)を理解する。</li> </ul>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎について理解する。</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)について理解する。</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)について理解する。</li> </ul>		
回数	項目	授業内容	授業形態
3時間	医療的ケア	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 喀痰吸引等制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)</li> <li>2. 医療的ケアと喀痰吸引等の背景</li> <li>3. 医行為について</li> <li>4. その他の制度</li> </ol>	スクーリング
1時間	安全な療養生活 清潔保持と感染予防 健康状態の把握	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施</li> <li>2. 救急蘇生</li> <li>3. 感染予防</li> <li>4. 介護職の感染予防</li> <li>5. 療養環境の清潔、消毒法</li> <li>6. 消毒と滅菌</li> <li>7. 身体・精神の健康</li> <li>8. 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)</li> <li>9. 急変状態について</li> </ol>	スクーリング
12時間	高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論</li> </ol>	スクーリング
10時間	高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説</li> </ol>	スクーリング
12時間	高齢者および障害児・者の経管栄養概論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者および障害児・者の経管栄養概論</li> </ol>	スクーリング
10時間	高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説</li> </ol>	スクーリング
評価方法	小テスト、実技試験		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第5巻】 医療的ケア 中央法規		

科目名	医療的ケア演習	指導担当者名	山本 友紀
開講時期	上記参照		
単位(時間)数	12時間		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引のケア実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)について、評価票にもとづき、口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部をそれぞれ5回以上行い、評価を得る</li> <li>・経管栄養のケア実施の流れ(準備から実施、報告・記録まで)について評価票にもとづき、胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養、経鼻経管栄養をそれぞれ5回以上行い、評価を得る。</li> <li>・救急蘇生法について、心肺蘇生の流れを1回以上行う。</li> </ul>		
学習目標	喀痰吸引・経鼻経管栄養・救急蘇生法について、演習を通じて一連の流れ(手順)を1人で実施できるよう習得する		

回数	項目	授業内容	授業形態
12時間	喀痰吸引のケア実施の手引き 経管栄養のケア実施の手引き 救急蘇生法の手引き	1. 口腔内および鼻腔内 2. 期間カニューレ内部 3. 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養 4. 半固形化栄養剤による胃ろうまたは腸ろうの経管栄養 5. 経鼻経管栄養 6. 救急蘇生法 7. AED使用の手順	スクリーン*
評価方法	実技試験		
テキスト	介護職員等実務者研修テキスト【第5巻】 医療的ケア 中央法規		

☆講師陣

専任教員	氏名	担当科目	資格
◎主任	清久 記子	人間の尊厳と自立 社会の理解Ⅱ 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ 介護の基本Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション技術 介護過程Ⅱ・Ⅲ 障害の理解Ⅰ・Ⅱ こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ	介護福祉士 介護支援専門員 主任介護支援専門員 社会福祉士 実務者研修教員講習会修了
	河野 恵子	認知症の理解Ⅰ・Ⅱ 生活支援技術Ⅱ こころとからだのしくみⅡ 介護の基本Ⅰ・Ⅱ	介護福祉士 介護支援専門員 実務者研修教員講習会修了
	山本 友紀	障害の理解Ⅱ 医療的ケア 医療的ケア演習	看護師 介護支援専門員 医療的ケア教員講習会修了
	四方 克尚	社会の理解Ⅰ	社会福祉士
	中嶋 弥生	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	看護師 介護支援専門員
	藤原 美恵子	介護過程Ⅰ	介護福祉士 介護支援専門員
	後藤 文	社会の理解Ⅱ コミュニケーション技術 生活支援技術Ⅰ 障害の理解Ⅰ・Ⅱ	介護福祉士 実務者研修教員講習会修了



☆実績

実施年度	研修期間	修了者数
H26年度	H26.10.1～H27.3.31	25名
	H27.2.4～H27.8.3	24名
H27年度	H27.8.4～H28.2.3	20名
	H27.12.1～H28.5.31	22名
H28年度	H28.4.1～H28.9.30	12名
	H28.9.30～H29.3.29	23名
H29年度	H29.4.4～H29.10.3	25名
	H29.9.28～H30.3.27	17名
H30年度	H30.4.3～H30.10.2	14名
	H30.9.27～H31.3.26	22名
H31年度	H31.4.3～R1.10.2	24名
	R1.10.1～R2.3.31	17名
R2年度	R2.4.3～R2.10.2	18名
	R2.10.1～R3.3.31	14名
R3年度	R3.4.6～R3.10.5	18名
	R3.10.1～R4.3.31	18名
R4年度	R4.4.5～R4.10.4	15名
	R4.9.28～R5.3.27	9名